

市内小中学校の適正規模・適正配置の説明会(第1回)

6月26日(金)午後6時～午後7時 伊香保公民館

No.	いただいた意見等の概要	市の考え方
1	伊香保地区はいつまでに統合することになりますか。	今年度中に策定する「基本計画」では、「〇〇学校と〇〇学校を〇〇までに統合する」などの具体的な考えをまとめます。次年度(令和9年度)は、その計画をもとに地域の協議を進めることとなります。 規模の小さい学校が早期統合を望む場合であって、規模の大きな学校に吸収される形が、最も早く話が進む事例と考えられます。この場合、令和9年度中に統合の意志決定がされたとしても、翌年(令和10年度)は、新しい学校・廃校となる学校ともに準備期間(1年)となります。そのため、最も早く話が進んだ場合でも、学校の統廃合は令和11年度以降になる考えです。 統合先の学校に施設改修が伴う場合は、工期を概ね5年と考えているため、令和16年以降になると考えられます。
2	第2回目の説明会では、「〇〇学校と〇〇学校を〇〇までに統合する」という案がいくつか示されることになりますか。	学校の適正規模・適正配置を、市内全域で検討することになるため、検討の範囲を設定した中で、いくつかの適正規模・適正配置のパターン(「〇〇学校と〇〇学校を〇〇までに統合する」という内容)をお示します。検討を進める上での参考となるよう、範囲ごとのパターンを組み合わせた「適正規模・適正配置のモデル」を複数提示する考えです。 あくまでたたき台としての位置づけとなりますが、「〇〇学校と〇〇学校を〇〇までに統合する」という形をお示しすることになる予定です。
3	次の説明会で、より踏み込んだ提案をする予定でいるのであれば、保護者や自治会長など、もっと参加者がいる中で行うべきと考えます。	次回はより具体的な提案となりますので、より多くの方からご意見を伺いたいと考えています。 説明会の開催曜日や時間によって参加がかなわない方もいることが想定されるため、第2回目以降の開催については、土曜日や日曜日の開催も検討します。
4	伊香保の児童生徒数の推移について、20年前と比較して75%減少している。この状態について、どのように捉えているのでしょうか。ある意味異常な状態であるようにも感じます。地域に学校があることで、人口減少の抑制につながるかと考えます。	人口減少について、市として少子高齢化に危機感を持って取り組んできたものの、実際の状況として、激しい人口減少になってしまったと受け止めています。 学校がなくなってしまうと人が減ってしまうという心配をしている人は多いと思います。その中で、学校の適正規模・適正配置では、「子どもの人数が減っている状況をどう考えるか」という視点で考えています。 今後の教育環境の変化において、子どもの学びのことを考えれば、学校の適正規模・適正配置をある程度進めたいという考えと、地域の活力維持の面での学校の必要性という考えを付かせ、それぞれが納得できる形にしたいと考えています。 伊香保に限らず、全ての地域で考えなければならないことと捉えています。
5	学校の適正規模・適正配置基本方針の適正規模基準は、普通学級の数を示したものと認識しています。特別支援学級に通う子どもが増えているようですが、特別支援学級の人数や教員の配置はどのようになるのでしょうか。	特別支援学級については、1学級当たり最大で8人となっており、9人になったところで学級が分かれる形になります。複数の学校が統合した場合、子どもの特性に応じた、在籍する児童生徒の数で学級数が変化することになります。
6	令和3年に過疎指定された地区が今後、より一層問題になってくるだろうと思う。教育委員会だけでなく、市全体での支援体制を整えるようにしていただきたい。	市は、第2次総合計画が令和9年度をもって終了するため、令和10年度以降のまちづくりの長期的な展望を示すための、第3次となる新しい総合計画を策定する予定です。 学校の適正規模・適正配置の検討においては、市総合計画のほか、各種施策との整合を図りながら取り組みます。
7	外国人の方にも理解してもらう必要があるのではないのでしょうか。	説明会はどなたでも参加いただけることとしていますが、いただいた意見も参考にさせていただき、より多くの方に「学校の適正規模・適正配置」を考えてもらえるよう取り組みます。
8	小・中学校をまとめることはできないのでしょうか。	小・中学校をまとめた小中一貫校(義務教育学校)の導入も考えられます。ただし、適正規模化を伴わない状態での小中一貫校の導入は検討しないこととしています(基本方針(本編)P30)。
9	先生や生徒、保護者、地域の方等、それぞれの意見が聞きたいです。	説明会やアンケートでの質疑の内容などは、市ホームページに適時公開する形で皆さんに情報をお示ししたいと考えています。
10	参加する市民が増えるよう考えるべきだと思います。	開催曜日や時間によって参加がかなわない方もいることが想定されるため、第2回目以降の開催については、土曜日や日曜日の開催も検討します。